



デジタル点火器及び専用システム 増設による花火大会イベント事業拡大

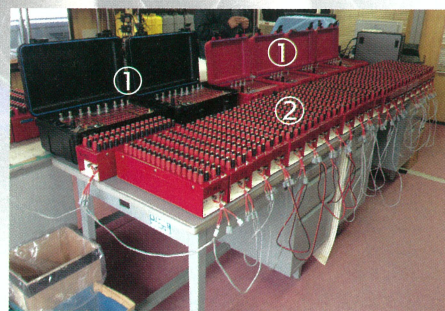
平成25年度 補正予算事業

実施した事業の概要と成果

花火大会では、これまでの花火のみの打上演出から、音楽やカラーレーザーとコラボする音楽花火の需要が増えており、全国のテーマパークや花火大会を手掛ける取引先や当社においても、年々増加傾向にある。

今回の事業で、IT 技術を活用した音楽花火入力システム「ScriptMaker・CueMaker2000」を導入し、デジタル点火器本体・モジュール・ソフトの設備増設を行うことで、音楽花火の芸術性・表現力の可能性を高めるべく事業拡大を図った。これによって、花火大会をイベント事業として捉え、本格的な総合演出力の向上を図った。

また従来の音楽花火プログラム製作では、①音楽から点火タイミングを抽出、②花火玉の導火線燃焼時間を計算、③モジュール配置・振分け、④打上プログラムを入力、という手順であったが、ScriptMaker により花火情報をデータベース化し①②③の手順を同時実行し、CueMaker により手順④も自動化され、製作コスト削減と顧客ニーズの対応力が格段に向上した。



①デジタル点火器本体および②モジュール



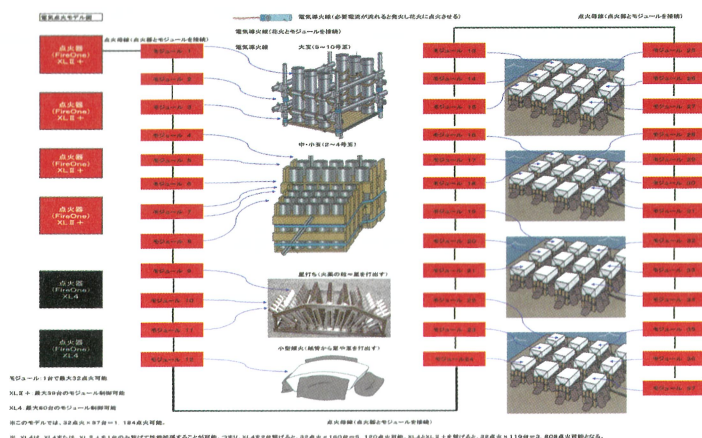
音楽花火演出配置状況



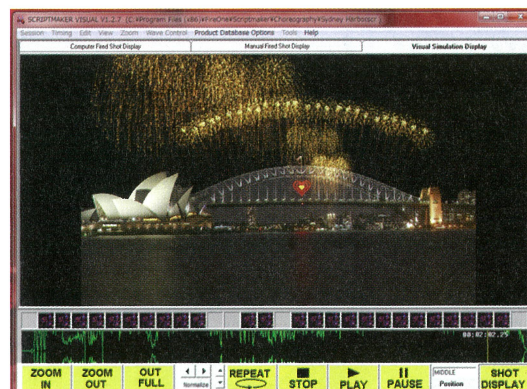
技術開発や課題解決への取り組み

通常の標準花火プログラムの場合、点火器1台に対しモジュールが5台あれば十分であるが、音楽花火の場合は、メロディに同調させ1発ずつ点火が必要となるため点火数が格段に多く、モジュールが最低10台前後必要となる。

しかし、大規模な花火大会においては、点火設備を使用する際に点火器の最大点火数の約6割に点火数を制限して、制御することが理想とされている。そのため音楽花火のイベント事業を拡大していくためには点火設備を多数保有することが不可欠となり、IT技術を活用した音楽花火入力システムを導入し、デジタル点火器本体・モジュール・ソフトの設備増設を行うことで音楽花火演出の事業拡大を図った。



音楽花火電気点火モデル図



ScriptMaker による音楽花火演出 CG シミュレーション

事業者 株式会社 太洋花火

代表者 代表取締役 園田 泰洋

設立年月 昭和52年4月

所在地等 〒890-0054 鹿児島市荒田1丁目7-11
日吉工場：
〒899-3102 日置市日吉町山田字町原1610
TEL: 099-250-2311
FAX: 099-250-2314
E-mail: starmine@taiyohanabi.com
http://www.taiyohanabi.com

事業区分 ものづくり技術

資本金額 1,000万円

従業員数 41人

業種 その他の製造業

株式会社 太洋花火の

生魂

専務取締役
園田 洋平



補助事業取り組みへのきっかけ・目的は？

花火大会では音楽やカラーレーザーとコラボする音楽花火演出の需要が増えており、今後もますます増加すると見込まれる。音楽に合わせて花火を打ち上げる音楽花火の打上げ技術と総合演出の役割が今後は重要であるが、大量の点火設備が必要であった。

また音楽花火演出が標準となってきた関東地方に匹敵する花火演出能力を備えるためには専用システムをどうしても導入する必要があった。

今後の取り組みは？

システム導入後によって本番前に作成したシミュレーションで事前に要望を取り入れることが可能となったため顧客要望への対応力が向上した。

今回のシステム導入で全国でも有数の音楽花火演出を提供する体制の基盤を作ることができたため、九州でもトップクラスの音楽花火演出を提案するべく、事業展開を図り、設備を活用できる人材育成を行う。